

磐越自動車道 長谷地区測量業務

特 記 仕 様 書

令和 6 年 6 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

新潟工事事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 磐越自動車道 長谷地区測量業務

1-1-2 路線名 高速自動車国道 東北横断自動車道 いわき新潟線

1-1-3 履行箇所 自) 新潟県東蒲原郡阿賀町谷沢 (STA. 601+80)
至) 新潟県阿賀野市新保 (STA. 750+42)

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目		数量	備考
作業計画		1式	
現地踏査		1式	
用地測量	境界確認	1.77 万㎡	A・C・D部
	境界測量	1.77 万㎡	A・C・D部
	補助多角測量	1.77 万㎡	A・C・D部
	用地境界仮杭設置	0.08 万㎡	A・D部
	境界点間測量	1.77 万㎡	A・C・D部
	面積計算	1.77 万㎡	A・C・D部
	用地実測図等の作成	1.77 万㎡	A・C・D部
	土地確認調査票等の作成	1.77 万㎡	A・C・D部
用地幅杭設置測量	片側	0.05 km	A部
	両側	0.04 km	D部
UAVレーザ測量		0.03 km ²	B・E部

1-1-5 履行期間

履行期間は、契約保証取得の日の翌日から240日間とする。

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和5年7月版とする。

1-3 主任補助監督員の権限

共通仕様書1-6-3の規定に基づき主任補助監督員に委任した権限は次のとおりである。

(1) 契約書に規定する監督員の権限のうち、下表の事項

条	項目	内 容
1-13-2	作業日	・休日等の作業の確認

1－4 資料の貸与

共通仕様書 1－15－1 に示す貸与資料は、一覧に示すとおりとする。

ただし、履行期間中の調査等業務について、その成果品等の貸与予定日は次のとおりとする。

なお、貸与予定日（契約締結後 7 日以内）までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
詳細測量成果品	磐越自動車道 長谷地区詳細測量	契約締結後	電子成果品

1－5 受注者相互の協力

共通仕様書 1－20 の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
磐越自動車道 長谷地区立木調査	未定	未定	東日本高速道路(株)	隣接施工

1－6 部分使用

共通仕様書 1－35 の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
測量データのうち A 部に該当する部分	2025 年 2 月 3 日	別途実施する調査等業務で使用するため
UAV レーザ測量のうち B 部に該当する部分	2024 年 11 月 1 日	別途実施する調査等業務で使用するため
測量データのうち C 部に該当する部分	2025 年 2 月 3 日	別途実施する調査等業務で使用するため
測量データのうち D 部に該当する部分	2025 年 2 月 3 日	別途実施する調査等業務で使用するため
UAV レーザ測量のうち E 部に該当する部分	2024 年 11 月 1 日	別途実施する調査等業務で使用するため

なお、使用開始時期については打合せのうえ変更する場合がある。

1－7 計画工程表

1－7－1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1－14－1（2）に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1－4 に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1－22 に規定する

打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
作業計画		
現地踏査		
用地測量	境界確認	A・C・D部
	境界測量	A・C・D部
	補助多角測量	A・C・D部
	用地境界仮杭設置	A・D部
	境界点間測量	A・D部
	面積計算	A・C・D部
	用地実測図等作成	A・C・D部
	土地確認調査票等の作成	A・C・D部
用地幅杭設置測量	片側	A部
	両側	D部
UAVレーザ測量		B・E部
打合せ		
成果品	報告書作成	

1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書1-2-2に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-1-4-3に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-8 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書1-2-2に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後7日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後7日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 用地測量

2-1-1 適用すべき諸基準

本業務の境界測量は、下記の基準を適用するものとする。

名 称	発 行	備 考
用地測量標準仕様書(R3.9)	東日本高速道路株式会社	交付図書のとおり

2-1-2 作業条件

用地測量の作業条件は次のとおりとする。

位置	数量	地域区分	備考
本線外道路 三川 IC～西山 TN 間	0.03 万㎡	<高速道路敷地外> 耕地（丘陵地）	A 部
工事用道路 長谷 TN～熊渡 TN 間	1.69 万㎡	<高速道路敷地外> 森林（低山地）	C 部
工事用道路 熊渡 TN～阿賀野川 SA	0.05 万㎡	<高速道路敷地外> 耕地（丘陵地）	D 部

2-1-3 境界確認

境界確認は、用地関係調査仕様書第 19 条から第 25 条の規定に基づき行うものとする。

なお、境界確認については、資料作成、立会日及び作業手順の検討、立会依頼書作成、境界立会、境界杭設置、境界立会者作成（押印）を含むものとする。

2-1-4 境界測量

用地境界測量とは、A 部、C 部及び D 部において用地関係調査仕様書第 26 条及び 27 条の規定に基づき行うものとする。

2-1-5-1 用地境界仮杭設置

用地境界仮杭設置とは、用地測量標準仕様書 30 条の規定に基づき行うものとする。

なお、設置する仮杭の位置に関しては設計図書及び監督員の指示に従い設置するものとする。

2-1-5-2 作業条件

用地境界仮杭設置の作業条件は次のとおりとする。

位置	数量	地域区分	備考
本線外道路 三川 IC～西山 TN 間	0.03 万㎡	<高速道路敷地外> 耕地（丘陵地）	A 部
工事用道路 熊渡 TN～阿賀野川 SA	0.05 万㎡	<高速道路敷地外> 耕地（丘陵地）	D 部

2-1-5-3 材料

用地境界仮杭設置に使用する材料は以下のとおりとする。

項 目	規 格	備 考
プラスチック杭	45×45×450	頭部：赤

2-1-6 境界点間測量

測量作業規定第5編第4章第7節「境界点間測量」に基づき、A、C及びD部において隣接する境界点間の距離を測定する業務をいう。

2-2 用地幅杭設置測量

2-2-1 用地幅杭設置測量

用地幅杭設置測量の検測数量は、参考図で示すA部における町道及びD部工事用道路の中心線延長（km）とする。

2-2-2 作業条件

用地幅杭設置測量の作業条件は次のとおりとする。

位置	数量	地域区分	設置区分	備考
本線外道路 三川 IC～西山 TN 間	0.05 km	<高速道路敷地外> 耕地（丘陵地）	片側	A部
工事用道路 熊渡 TN～阿賀野川 SA	0.04 km	<高速道路敷地外> 耕地（丘陵地）	両側	D部

2-2-3 材料

用地幅杭設置測量に使用する材料は以下のとおりとする。

項目	規格	備考
プラスチック杭	45×45×450	頭部：赤

2-3 UAVレーザ測量

UAVレーザ測量とは、B部及びE部において測量作業規定第4編第4章「UAVレーザ測量」に基づき、UAVを用いて、地形、地物等を撮影し、取得したデータからオリジナルデータ等の三次元点群データ等を作成する業務をいう。

2-3-1 作業内容

UAVレーザ測量の作業内容は、調整点および検証点の設置、UAVレーザ測量、点群編集、三次元点群データファイルの作成、等高線データファイルの作成を実施するものとする。なお、UAVレーザ測量の検測数量は、測量を行った面積（km²）とする。

2-3-2 三次元点群データファイルの作成

三次元点群データファイルの内容について、下表のとおりとする。

成果品目	位置精度	要求精度（標準値）	備考
グラウンドデータ グリッドデータ 等高線データ	200点/m ² 以上	0.1m（RIMS誤差）	植生の影響：大

測量を行う範囲については、別添「参考図」を基本とするが作業実施にあたっては、事前に監督員と十分に打合せ、測量範囲の確認を行うものとする。

なお、調査位置・範囲等の大幅な変更に伴い契約数量を変更する場合は、監督員と受注者で協議し定めるものとする。

2-3-3 成果品

UAVレーザ測量で作成する成果品に下表を追加する。

種別	名称	提出部数	摘要
UAVレーザ測量	オリジナルデータファイル	1	
	グラウンドデータファイル	1	
	グリッドデータファイル	1	
	等高線データ	1	
	精度管理表	1	
	品質評価表	1	
	メタデータ	1	
	その他の資料		

2-4 打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査を含め、4回とする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。

2-5 成果品

報告書の表紙は、薄青色、黒文字製本とする。

第3章 補足事項

3-1 調査内容の変更及び追加について

下記に示す事項については、本業務に変更・追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡をとると共に、これについて、監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は発注者と受注者で協議し定めるものとする。

（1）地元協議および現地踏査に基づく数量の変更及び追加